

多摩教文研だより

所長 しまだ 和明



多摩教育文化研究所

〒214-0037 川崎市多摩区西生田2-1-3

ホームページ: <http://kawakyoso.net/newpage40.html>

tel: 090-2617-6355 email: shimada9990@yahoo.co.jp

Facebook・Twitter・Instagram 「嶋田和明」で検索・フォローお願いします。Homepage



Facebook

多摩教文研では、教育に関わる情報や課題を集め「多摩教文研が考える未来像」として提言を発信していく活動をしています。

< 枳形山広場の学童疎開記念碑「輝け杉の子像」 >

生田緑地の枳形山広場に学童疎開記念碑「輝け杉の子像」があります。昭和60(1985)年10月19日に川崎市学童疎開記念碑建設実行委員会によって除幕式が行われました。

学童疎開は昭和19(1944)年6月30日に閣議決定され、国民学校初等科3～6年生について実施されました。川崎市は7月28日、緊急校長会を開き、35校中、24校の集団疎開先を決定しました。

・川崎北西部 4校1100余名

大島(柿生)、桜本(生田)、小田(登戸・稲田)、渡田(向丘・橋)

・大山地区 9校3200余名

平間・向・富士見・旭町・五川・宮前・御幸・大師・住吉

・大山地区をのぞいた中郡 9校2300余名

南河原(大田村)、日吉(旭・金田村)、田島(神田村)、幸町(日々多村)、川崎(岡崎・金目村)、
新町(豊田・城島村)、前沼(成瀬・相川村)、川中島(伊勢原町)、高津(高部屋村)

・津久井郡 2校500余名

中原(吉野町・佐野川・沢井・名倉・日蓮・小淵村)、大戸(与瀬町・千木良村)

総勢7100余名の児童は、同年8月15日から24日の間(津久井郡は翌20年5月)に川崎を出発、20年9月、終戦による疎開解散に至るまで疎開生活を送りました。

碑文によると、この像は、「名状し難い困苦の中から祖国の再建を期する当時の幼い子らの姿を現し、困難な中で引き受けられた全地域の方々への感謝と、平和への誓いをこめて、当時の児童教職員、現教職員、一般市民、そして川崎市の協力によって疎開解散40周年を記念して、当時桜本国民学校が疎開していた鍛錬道場のあった当枳形山に建立した。像の製作者は川崎市在住の圓鍔元規氏である。」とのこと。

現在の枳形山は、子どもたちの自然観察や、親子が笑顔で過ごす憩いの場所となっています。



<ウクライナ難民支援の募金活動>

4月より休日を中心に駅頭にて「ウクライナ難民支援の募金活動」を始めました。ロシアが2月24日にウクライナに攻め込み、戦争が始まりました。およそ2ヶ月が経過しています。報道にあるように、によって多くの市民や子どもたちが多大な被害を受けています。国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）によると、4月11日までにウクライナから避難した人の数が450万人を超えたと明らかにしました。一刻も早い停戦を望みますが、今後長期にわたって難民の生活支援や教育支援が想定されます。そのため、難民支援のための募金活動が必要です。多摩教文研の初回の募金活動においても、大人から幼いお子さんまで募金をしてくれる姿があり、あらためて必要性を強く感じました。おそらく元の生活に戻るまでには、数年以上がかかることでしょう。これからもウクライナの市民や子どもたちに寄り添った支援が必要です。



<多摩教育文化研究所が考える未来像>

人と自然に優しく、笑顔あふれる「まち」

教育・福祉・多文化が結び合う「まち」

教育

教育は、未来をつくる。夢のあるまちを。

- 学校教育の環境整備の充実と子育て・生活支援
- 次世代に必要とされるICT教育の推進
- 市民に開かれた社会教育（市民館・図書館等）の充実
- 世代を通して豊かに学ぶことのできる生涯学習

福祉

こども・若者・市民をつなぐ。住みやすいまちを。

- 「子どもの貧困」「ヤングケアラー」等の対策
- 安心して子育てできるまち
- 高齢者・障がい者の生活支援と健康・元気の創出

多文化共生

ちがいは豊かさ。互いに支え合い活気あるまちを。

- 誰もが安心して住みやすい人権尊重のまち
- 国際的な感覚のもと、積極的な多文化交流
- 住民・はたらく者・学生が「市民」として支え合う豊かなまち

環境

豊かな自然や文化遺産を守り、環境に優しいまちを。

- 生田緑地や里山の自然を守り、持続可能な環境
- 多摩川周辺的环境整備と有効活用
- 都市部と自然が融合し、四季を楽しむうるおいのあるまち

防災

様々な災害に備え、だれもが安心して住むことのできるまちを。

- 地震や水害など様々な災害に応じた防災対策
- 新型コロナウイルス感染症も含めた複合的な防災対策
- 地域コミュニティを大切にした防災対策と避難体制